

【沖縄地区】

(1)実施日	平成28年7月18日(月・祝)
(2)実施場所	沖縄県糸満市
(3)参加者	30名(29名+事務局1名)
(4)協力	キュリオス沖縄、糸満市観光協会
(5)活動内容	午前：糸満市大度浜海岸のイノー(潮だまり)散策と海岸清掃 博士号を持つガイドの案内でサンゴ礁をはじめイノーに生息する海の生物について観察し、その後参加者全員で海岸清掃を行った。 昼食：「ゆし豆腐作り体験」や魚汁、糸満名物(爆弾おにぎり)の昼食 午後：3グループに分かれてグラスボートに乗船し那覇空港第二滑走路建設地から移植棚に移植された珊瑚と天然珊瑚の生育状況を観察。
(6)スケジュール	09:45 大度浜海外(糸満市)に現地集合 10:00 「キュリオス沖縄」によるイノー(潮だまり)散策&海岸清掃 12:30 糸満市米須公民館にて「ゆし豆腐作り体験」と昼食 13:50 各自で糸満フィッシャリーナへ移動 14:50~16:50 3班各9~10名に分かれて、交替でグラスボートで珊瑚移植棚を見学(約40分) ※ボート乗船待ち時間は「道の駅いとまん」で自由行動 17:30 「道の駅いとまん情報館ロビー」にて解散式
(7)参加者の感想 (抜粋)	○普段から地元の方が清掃しているのだろうか。ゴミが少ない。 ○我々の活動がビーチ利用者への環境保全のアピールになると思う。 ○糸満沖合にこんな立派な珊瑚礁の群落があるとは知らなかった。 ○海岸の成り立ちや海洋生物に関するイノーでの解説が良かった。 ※その他、参加者の多くが沖縄の自然(海)の大切さを考える上で今回の環境保全活動が大変役立ったとアンケートをいただきました。
(8)その他情報	【大度浜海岸】：ジョン万次郎が日本帰国の際、最初に上陸した地。 ウミガメの産卵地でもあり、近くに住む今回の参加者から環境保全活動の翌々日にもウミガメが産卵に来たとの報告(写真)があった。 【珊瑚移植棚】：今回見学した糸満フィッシャリーナ沖合にある珊瑚は全体の内一部2,300余群体を8名が20日間で移植したものである。 また珊瑚のあった那覇空港第二滑走路の総事業費は1,993億円、2019年12月完成、2020年3月の供用開始予定。

